

平成 21 年 3 月 19 日

非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師 各 位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会
医療委員会

骨髄採取量と細胞数のカウントについて(再通知)

平素は、骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、非血縁ドナーの骨髄採取につきまして、細胞数が少なかった事例が数例報告されております。この件について、ドナー安全委員会と医療委員会において検討しました。「骨髄採取マニュアル」と合わせて下記について改めてご確認いただき、ご対応くださいますようお願い申し上げます。

マニュアルに掲載されていない点については、太字で示しています。

**< 骨髄採取量と細胞数のカウントについて >
(「骨髄採取マニュアル」第 3 版 P57～58 参照)**

如何なる場合も、ドナーの骨髄採取上限量を超えて採取しないこと。

ドナーの採取上限量もしくは標準採取量の少ない方を骨髄採取計画量とする。

但し、血漿除去・血球除去が必要な場合は、事前に移植施設と調整し、適切な量を決定すること。

骨髄採取計画量以上の採取は従前通り行わない。

但し、骨髄採取計画量の半分程度を採取した段階で、原則、途中カウントを行い、最終細胞数を予測しながら採取すること。

細胞数が少ない場合は、骨髄採取上限量を超えない範囲で自己血 + 400ml までの採取は止むを得ないこととする。

自己血準備量の計算方法も変更しない。

但し、採取計画量が 300～399ml の場合には、200ml までの自己血貯血は可とする。

骨髄採取当日の出血量は、原則 400ml 以下とする。

なお、骨髄採取量については、標準体重を用いて算出する方法や小児における算定方法等について継続して検討される予定です。今後の検討を含めて次回「骨髄採取マニュアル」改訂時に反映いたします。ご意見等がございましたら、下記までお寄せください。

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナーコーディネート部 TEL：03-5280-2200
移植調整部 TEL：03-5280-4771